

番号	1-3-1	表題	稼働中の放流渠における耐震補強工事の仮設計画について ～止水困難な高級処理水放流渠吐口のドライ化～	
内容	<p>下水道局では経営計画 2021 に基づき、震災対策事業を推進しており、水再生センターの放流渠も耐震化対象施設である。一方で下水道処理施設は 24 時間 365 日稼働し続ける必要があり、今回耐震補強工事を行う新河岸水再生センター処理水放流渠も、晴天時、雨天時間問わず、高級処理水を絶え間なく新河岸川へ放流する施設である。加えて、対象施設は簡易放流渠としての機能も兼ね備えていることから、雨天時に簡易処理水を放流している。このため、水路内は常に処理水が流れており、水量が不定期に増減する環境下にある。このような環境下において、水路内で耐震補強工事を行うためには、処理水が放流渠に流入しないよう放流渠を締め切り、水路内に残った残留水を排水ポンプ等で排除する作業（以下、ドライ化という。）を行い、作業環境を整える必要がある。しかしながら、施設機能を停止することができない環境下でのドライ化は困難であり、施設機能を十分理解した上での入念な検討が必要となる。本事例でドライ化に成功した仮設計画について、課題と対応、実施する上で得た知見等を報告する。</p>			
キーワード	耐震補強、放流渠、水路内、ドライ化、仮設計画			
処理区名	新河岸処理区	位置区分	水再生センター	
職種区分	土木	施策区分	震災対策	
状態区分	設計	新規性		
実施年度	令和 4 年度	全体期間	令和 3 年度～令和 5 年度	
担当部署	建設部 土木設計課 設計担当・第二			
発表履歴	局内	令和 4 年度 設計・工事事例発表会		
	局外			
調査方法				
関連情報				